

主題「思いやりをもった情報発信」

副題～携帯メールの使い方とマナーについて～

さいたま市立栄和小学校

1 ねらい

メール交換ソフトを用いてメール交換の仕方を学び、情報発信の仕方やマナーを学ぶ。

2 指導計画

- (1) メール交換の経験やその知識についての話し合い
- (2) メール交換する際のマナーと注意事項について
- (3) メールソフトの利用法について（ジャストスマイル「つたわるネット」携帯電話用メール）
- (4) メール交換の実践
- (5) 感想発表

3 授業実践例

- (1) メールについての話し合い
 - メールについての知識の話し合い
 - メールの便利さと危険について
- (2) メールソフトの使用の仕方
 - 「つたわるねっと」でのパソコン上でのメール交換
 - 「つたわるねっと」での携帯電話形式でのメール交換
- (3) メール交換する際のマナーと注意事項について
 - メールのマナー
 - 迷惑メール、なりすましメールなどの危険性について
 - メールの仕組み
 - ・メールの特性や仕組みについて（ジャストスマイルのスライド教材使用）
- (4) メール交換の実践（携帯電話用メール）
 - 受信メール BOX、送信メール BOX の見方などの基本操作
 - メール作成時のマナーについて
 - ・相手が読みやすいように工夫したか。
 - ・もらった人がいやな気持ちになるような言葉が入っていないか。
 - メールソフトを用いたメール交換
 - 迷惑メール、なりすましメールの体験
- (5) 感想発表
 - 実際にメールを送受信しての感想を発表する。
 - メールを送信する楽しさだけでなく、気をつけなければならないと思ったことも発表する。

4 成果と課題

普段から自由にメール交換ができる児童が数名いたが、多くの児童は保護者の管理のもとにメール交換を行っているか、携帯電話でのメール交換の経験がほとんどない児童だった。メールによる情報発信についてはその危険性に関心をもって話を聞いていた。メールへの関心は高いため、実際にメール交換を自由に行う際に一斉送信をしてしまったり迷惑メールのような内容を書いて送ってしまったりする児童もいた。しかし、実際に迷惑メールやなりすましメールなどの体験をすることでその危険性を改めて実感していた。今後、携帯電話の利用が低年齢化していくことが予想されるため、定期的に情報モラルについての指導を行っていかなければならない。